

## ●花山稲荷神社に観光案内板が設置されました



おこしやす“やましな”協議会では、西野山穴ノ上町の花山稲荷神社に、新たに観光案内板を設置しました。案内板では、史跡の紹介だけでなく、訪れた方々が近隣

名所を歩いて散策できるように、周辺地図を掲載するとともに、大石神社、折上稲荷神社、清水焼団地を紹介しています。醍醐天皇の勅命により創建したと言われる由緒ある神社を一度訪れてみてはいかがでしょうか。

●問合せ先／おこしやす“やましな”協議会 区総務・防災担当(☎592-3066)

## 災害に備えて平成24年度 区総合防災訓練を実施

3月3日、小野小学校で山科区総合防災訓練が行われました。

約400名の区民の方の参加のもと、町内会ごとに避難した後、生活スペースの作成や食料訓練などの避難所運営訓練および仮設トイレの設置などの災害時初期対応訓練が実施されました。

●問合せ先／区総務・防災担当(☎592-3066)



## やましなっこひろば

地域子育て支援ステーションに指定されている児童館・保育園の先生と各学区の主任児童委員と一緒に公園で手あそびやおもちゃで遊びませんか。

●日時と場所／

日時	場所
5月15日(水)午前10時30分～11時30分	東野公園(東野八反畑町) 雨天時はももの木保育園にて開催
5月23日(木)午前10時30分～11時30分	六兵エ池公園(西野八幡田町) 雨天時は鏡山保育所にて開催
5月24日(金)午前10時30分～11時30分	大宅御所田公園(大宅御所田町)
5月29日(水)午前10時30分～11時30分	早稲ノ内児童公園(大宅関生町) 雨天時は小野児童館にて開催

- 対象／就学前の子どもとその保護者
- 内容／児童館・保育園の先生と主任児童委員による手あそびや読み聞かせ、歌など
- 申込み等／不要。開催時間中は出入り自由。無料
- 主催／山科区地域子育て支援ステーション、山科区主任児童委員(山科区民生児童委員会)
- 問合せ先／山科子ども支援センター(☎592-3259)



## 平成24年度 山科区民花の回廊募金

「山科区民花の回廊募金」は、区民の皆さんの募金をもとに、平成22年度から3年計画で区内市立小学校に植樹しています。

平成24年度は、大宅小学校、大塚小学校、山階南小学校、山階小学校、音羽小学校で植樹式が行われ、募金者や学区の皆さんのほか、児童代表も参加し、感謝状贈呈の後、児童の歌や演奏が行われました。

これで区内13学区の市立小学校での植樹が完了しました。

ご協力ありがとうございました。今後も、山科区が花と緑に彩られた美しいまちになるよう、引き続き、植樹に取り組んでまいります。

すので、皆さんのご理解とご協力をお願いします。

●申込方法／募金を添えて、区まちづくり推進担当までお越しください。

個人一口 3,000円から  
団体・企業一口 30,000円から  
※一口以下の場合でも受け付けさせていただきますので、お気軽にご相談ください。

●問合せ先／区まちづくり推進担当(☎592-3088)



## 区民ボウリング大会 ●優勝は百々体育振興会チーム●



2月17日、第31回山科区民ボウリング大会が開催され、多くの方の参加のもと、熱戦が繰り広げられました。大会の結果は次のとおりです。

- 団体の部  
優勝 百々体育振興会チーム  
準優勝 音羽体育振興会チーム  
第3位 鏡山体育振興会チーム
- 個人の部  
男子優勝 大宅学区 鮫島 透さん  
女子優勝 鏡山学区 富永 圭子さん
- 問合せ先／区まちづくり推進担当(☎592-3088)

## 勸修小学校タグラグビーチーム 全国大会で3位の快挙

2月23日、24日に東京秩父宮ラグビー場および国立競技場で開催された「第9回サントリーカップ全国小学生タグラグビー選手権大会」に、勸修小学校のタグラグビーチーム(勸修リトルブラックス)が3年連続3回目の出場を果たしました。

予選を1位で通過し、決勝トーナメントの準決勝で惜しくも1点差で敗れ、全国3位という結果でした。

今後一層の活躍を期待します。  
●問合せ先／区まちづくり推進担当(☎592-3088)



## みんなで「第2期山科区基本計画」に取り組もう！ 第16回 連載 区民活動きずなリレー

～山科をこどもの笑顔でいっぱいに～  
げん Kids ★応援隊

「げん Kids★応援隊」は京都橘大学の学生によるボランティア団体で、山科の子どもたち相互のつながりをつくり、深めることを目指した活動をしています。

活動の中心は毎月1回程度のイベントで、サラダ油からキャンドルを作ったり、たまねぎの皮で染色をしたりする科学あそびや、たくさんのダンボールを使った基地作り、グラウンドをいっぱい使っての水鉄砲あそびなど、普段できないようなあそびを子どもたちと一緒にしています。主な参加者は小学生を中心に毎回40～50人。この2月に

(山科「きずな」支援事業補助金交付事業)は1年間の集大成としてスペシャルイベントを実施し、わりばし鉄砲やビニール袋のパラシュート作りなど、工夫したメニューで子どもたちと楽しみました。

メンバーの岡本さんに活動に参加したきっかけを伺いました。「僕は児童教育を学んでいるのですが、大学の授業や実習だけでは子どもたちとの接点が少ないので



スペシャルイベント

す。この活動では子どもたちに継続して深く関わられるので1回生の時から参加しています。」今のメンバー24人は全員が児童教育や幼児教育を学んでいるそうです。

イベントの他には、地域の夏祭りや地藏盆に来てほしいという依頼も多く、日程が重なりメンバーが分かれて出向くほど引っぱりだこのようです。

副代表の樋口さんは「工作でのハサミや、水鉄砲での水のかけあいなど、ちょっと危ない要素がある方が子どもたちは楽しめます。その代わりに安全の確保にはとても気を遣います。」とのこと。

「自分たちで企画を作り、それに子どもたちがどんな反応をするのか、毎回ワクワクします。」と岡本さん。考えたプログラムに子どもが「もっとこうしたい」と言い出したり、思いもよらない反応を見せたりするので、驚くと同時に次からはこうしよう、などの反省につながるそうです。

染色など専門知識が必要な時は、事前に専門家に学びに行くそうで、自分たちも楽しんで学びながら、子どもたちが楽しみ活動する場をつくり続けられているようです。

山科の子どもたちの成長と同時に、げん Kids★応援隊の皆さんも4年の間にたくさんの宝物を持ち帰られているのでしょうか。未来の先生、保育士たち、頑張ってくださいね！  
●問合せ先／区総務・防災担当(☎592-3066)



地藏盆での手あそび